

2008 年 7 月 9 日
郵便事業株式会社

高品質な国際郵便ネットワークの拡大について合意

郵便事業株式会社(東京都千代田区、代表取締役会長 CEO 北村憲雄)は、オーストラリアのポートダグラスにおいて開催されたカハラ・ポスト・グループ(※(1))のCEO理事会に参加しました。世界の主要国の郵政事業体のトップが一堂に会し(日本からは團宏明代表取締役社長が出席)、EMS(国際スピード郵便)を始めとした国際郵便の高品質配達ネットワークに関する共同の取り組みの成功を確認し、更なる提携強化について合意しました。

主な合意内容

- 1 シンガポールの郵政事業体「シンガポールポスト」の加盟を正式に承認
- 2 EMSに加え国際航空小包についても、追跡システムのデータ入力率の向上、品質レベルの恒常的なモニターを行うなどして、品質、信頼性を一層向上させるための取り組みを開始
- 3 品質の一層の強化を図ることで、個人及びビジネス顧客の両方にとって信頼できる、EMSをはじめとする国際郵便サービスを提供していくことを確認

【参考】

- 1 本グループのメンバー国に属する郵政事業体(メンバー事業体)は、独自の品質管理体制に基づき、著しい品質向上を達成するとともに、EMSの取扱量は、この5年間で毎年約10%の成長を記録(※(2))。
- 2 メンバー事業体は、カハラ・ポスト・グループCEO理事会終了後オーストラリアで行われた報道発表(別添)に基づき、各国で報道発表を実施。

※(1)：2002年、アジア太平洋の主要郵政事業体が、主にEMSの品質向上を目的として設立した共同ネットワーク(「Kahala Posts Group」。略称：KPG)。日本の他、豪州、中国、香港、韓国、スペイン、フランス、英国及び米国の9事業体が加盟。

※(2)：2004年～2008年の比較による(暦年。メンバー事業体間物数ベース、2008年は見込み)。

以上